

# 金融経済ナビ [指導のポイント]

## まなぼう！金融経済 株式の講座

### 1. コンテンツから導き出される授業の狙い

#### 関心・意欲・態度

- 株式会社に関心を持ち、株式のしくみを積極的に学ぼうとする。
- 株式市場全体の仕組みや意義、株価が変動する理由に関心を持つ。
- 世の中の動きが株価に影響を与えることを知り、普段から社会情勢にも興味を持ち、ニュース等をより見るようになる。

#### 思考・判断

- 発行市場と流通市場の役割の違いについて、起業や事業の拡大、上場などから考えるようになる。
- 株式投資と預貯金を比較し、それぞれの特徴を挙げることができる。

#### 知識・理解

- 「株式」を取り巻く「人・組織・仕組み」などを挙げ、各々の関わり(構造)、役割、存在意義(メリット)などが説明できる。
- 発行市場、流通市場の存在やその仕組み、株価変動とその要因などを挙げられる。

#### 技能・表現

- 株式投資における、売買の流れや資金の流れの概略を描くことができる。
- 実際の株価を、適切な情報源を選び、そこから見つけることができる。

### 2. 指導の前提

- 公民の教科書の中で、企業の社会的役割と株式会社について学習し、株式会社の定義はある程度知っていることが前提となります。
- コンテンツ「株式市場とは」は事前に、教科書で「市場」に関する授業を行っておくと、株式市場の特徴が分かり易くなります。
- コンテンツ「株価はなぜ動く」では、教科書で「価格、需要、供給」に関する授業を行っておくと、株価の特徴が分かり易くなります。
- コンテンツ「金融経済の基礎知識」を先に学んでおくと、本コンテンツの学習促進につながります。

### 3. 指導・評価計画

コンテンツ	学習活動	指導の留意点: 狙い(●)と評価(■)
(1) 株式会社と株式	<ol style="list-style-type: none"><li>身近な商品やサービスを挙げ、多くを株式会社が生み出していることに気づかせる。そこから株式が社会/生活に必要なものであることを意識させる。</li><li>「もし会社を始めるとしたらどんな準備が必要か？」といった問いかけから、最初に資金が必要であることを認識させる。</li></ol>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 株式会社がなにをしているかを理解させる。</li><li>● 投資する(株主になる)メリットがあることを理解させる。</li><li>● どのような点で株式会社が優れたシステムであるか考えさせる。</li><li>■ 借入れと株式の資金調達方法の違いを説明できる。</li><li>■ 株主の3つの権利を選択肢から取捨選択できる。</li><li>■ 株式会社がいつごろ生まれ、その背景になにがあったかを説明できる。</li></ul>
(2) 株式市場とは	<ol style="list-style-type: none"><li>「株式はどこで売買されているか」を問いかけ、証券会社と証券取引所の存在を理解させる。</li><li>スムーズで公正な株式の売買を行うために必要なルールについて認識させる。</li></ol>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 発行市場と流通市場の違いを知る。</li><li>● 株式市場には証券会社と証券取引所があることを知る。</li><li>● 株式の売買の流れ(概略)を理解させる。</li><li>● 売買の成立のルール概要を理解させる。</li><li>■ 発行市場と流通市場の違いが言える。</li><li>■ 投資家がどこで注文し、注文はどこで取引されるかを言える。</li><li>■ 取引成立のルールを説明できる(価格優先、時間優先、成行注文の優先)。</li></ul>
(3) 株価はなぜ動く	<ol style="list-style-type: none"><li>株価の変動をグラフなどで見ることで、毎日株価が変動していることに気づかせ、株価がなぜ変動するか考えさせる。</li><li>1ドルのモノを買う場合、1ドルで海外にモノを売る場合にわけて、それぞれ日本円に換算するときに、外国為替相場の影響を受ける点を考えさせる。また、企業に置き換え、企業の業績にどのような影響があるかを認識させる。</li></ol>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 株価変動には、いくつもの要因があることを理解させる。</li><li>● 会社毎の要因と、市場全体の要因の2つに大別できることを理解させる。</li><li>● 「個々の株価を調べる手段」「マーケット全体の傾向を知る手段」を理解させる。</li><li>■ 株価変動要因を、2つに大別できる。</li><li>■ 外国為替に関する要因で、円高・円安がそれぞれ、輸出企業・輸入企業にどのように影響されるか説明できる。</li><li>■ 株価を調べる手段として、新聞の株価欄やインターネットを挙げられる。株価指数はマーケット全体の傾向を表していることを説明できる。</li></ul>

### 4. 学習の発展

本サイト内コンテンツ「ウォーキング in 金融経済タウン」の、「株式会社」「証券会社」「証券取引所」で、より詳しく学ぶことができます。

〈関連項目〉

まなぼう！金融経済	「債券の講座/株式会社と債券」「資産運用とライフプランの講座/資産運用とは、資産運用をする」
ウォーキング in 金融経済タウン	「株式会社」「証券会社」「証券取引所」
動画教材「熱血ケーザイ家族！」	第1話「金融資産とファッションの選び方は同じ？」の巻、第3話「株主になった」、第4話「株価はなぜ動く？」、第5話「情報が勝負！」、第7話「円高・円安って何？」の巻、第8話「その時 株価は動いた！ 外国為替と株価」、第9話「金利はなぜ動くの？」の巻、第10話「その時 株価は動いた！ 金利と株価」、第13話「株価指数って何？」
学校向け教材	「株式学習ゲーム」「みんなで体験 株式会社とお金のしくみ」「フシギな経済テレビジョン」